

# 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: R5 年1月  
25 日

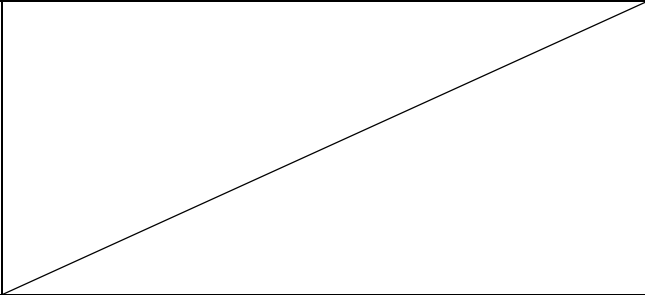
事業所名: かたつむりハウス第2上津台

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	適切	適切だと思う。	なし
	2	職員の適切な配置	できている。	実際、その日に先生の数が入り足りているか報告されていないので把握できていない。	その日の職員名を記入
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	1階・2階の部屋を特性や目的に応じて伝わりやすくなるよう配慮している。	特性に応じているかは判断しにくい。	音や環境に苦手な子に配慮して、第1と第2に分けて利用してもらっている。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	適切	子供たちが使い勝手がいいかは、子供たちの意見なのでわかりにくい。	使いやすいように、その都度工夫している。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の振り返りにより、計画立てて、取り組んでいる。	毎日の話し合いで、取り組んでいる。	

	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	相談員さんからの意見を聞き、改善をしている。		相談員さんが来所された時に、全体の様子を見てもらい、どこに問題があるかを客観的な意見を聞いて改善している。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年に何回かの研修機会を設けている。		コロナの時期で難しかったが、一人が受けたものを共有して研修している。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	実施している。毎月の全体会議での個別支援方法、計画を話し合いを持っている。	適切だと思う。	毎月の会議で話し合いをして、支援の内容を再考している。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団では難しい活動の子に対して、個別で対応している。		毎日、利用されるメンバーを見て、何の療育をするかを決めて実施している。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	具体的に示している。		毎日の記録をつけている。保護者にはファイルでの記載、写真などで支援報告をしている。

4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	実施している。	行われていると思う。	実施した内容はファイルに記載している。
5	チーム全体での活動プログラムの立案	実施している。		毎日の計画を立てて、実施している。
6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	支援ができています。	支援内容は記載し、その日の様子を伝えている。	休日や長期休暇の長い時間には、クッキングや工作、遠足、イベントなどを実施している。
7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用者に応じて、その日になるべく話し合っ て決めている。		利用者に応じて話し合いで決めている。また、イベントは毎年 少しずつ違ったもの、遠足は社会見学などを取り入れている。
8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日の担当を決めて確認している。		重度の子に対しての担当やその日に個別支援の必要な子に対しては 担当を決めて、利用者の来る前に職員間で確認している。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	振り返りは、大きいことはその日に振り返り、次の日に他スタッフとも共有している。		その日に重要な事は話し合いを行い、翌日に子供たちの様子を職員間で共有している。
10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	取り組んでいる。		なし

	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	毎月の全体会議で見直している。		なし
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談員さん含め、学校、保護者との担当者会議を行っている。		なし
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアの必要な子への支援はない。		なし
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアの必要な子への支援はない。		なし

4	<p>児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有</p>	<p>児童発達を利用されている方に対しては、情報共有できている。</p>		<p>電話や手紙で情報共有をしている。</p>
5	<p>放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、</p>	<p>あまり情報がないので、こども部会での情報を得ようとしている。</p>		<p>なるべく情報収集するようにしていく。</p>
6	<p>児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進</p>	<p>研修をなるべく受けれるものを受講して共有している。</p>		<p>コロナが落ち着いてきたら、外部研修の機会も増やしていきたい。</p>
7	<p>児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや</p>	<p>コロナの時期で実施できていない。</p>	<p>コロナが収まったら、実施してほしい。</p>	<p>なるべく実施していきたい。</p>

		児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供			
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナの時期で実施できていない。	コロナが収まったら、実施してほしい。	なるべく実施していきたい。
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	できている。	説明を受けている。	なし
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	できている。	できている。	なし
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	コロナの時期で実施できていない。個別で懇談の時に関わり合い方は支援している。	コロナが収まったら、実施してほしい。	なるべく実施していきたい。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	普段ご利用された時に、課題に対しては話をすることがある。	満足	共通理解できるように努力している。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相	できている。	満足	なし

	談への適切な対応と必要な助言の実施			
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナの時期で、実施できていない。	コロナが収まったら、実施してほしい。	なるべく実施していきたい。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	迅速な対応を心掛けている。	満足	なし
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	配慮している。	良い	なし
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	次月の連絡や近況の報告などはラインや、メッセージなどで発信している。他ホームページ	良い	なし
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	できている。	できている。	なし

## 非常時等の対応

1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	できている。	良い	なし
2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練も行っている。	良い	なし
3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修を行っている。		なし
4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	重要事項に記載。保護者にも説明している		なし
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーのある子は把握している。		なし



	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内の共有の徹底	ヒヤリハットは記録して いて、共有している。		なし
--	---	--------------------------	---------------------------	--	----